

平成 26 年度 第 5 回常任委員会議事録

日 時：2015 年 1 月 20 日（火）15：00～17：00

場 所：土木学会講堂

出席者：二羽委員長，岩波幹事長，綾野，池田，井上，氏家，内田，梅原，鎌田，河野，岸，佐伯，島，添田，武若，田中，土谷，津吉，名倉，信田，橋本，前川，松田，松村，丸山，宮川，睦好，森川，横田の各常任委員，石田，小林，下村，久田，丸屋の各常任委員兼幹事（敬称略）

配付資料：

- 5-0 平成 26 年度 第 5 回コンクリート常任委員会 議事次第
- 5-1 コンクリート委員会次期委員長推薦投票方法
- 5-2 平成 26 年度 第 4 回 コンクリート常任委員会議事録（案）
- 5-3 施工性能指針改訂研究小委員会 委員構成（案）
- 5-4 平成 27 年度 「重点研究課題（研究助成金）」募集について（ご案内）
- 5-5 225 コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会
- 5-6 平成 27 年度 全国大会開催に伴う研究討論会企画募集について
- 5-7 平成 27 年度 ジョイントセミナー実施テーマの募集（ご案内）
- 5-8 公益信託「土木学会学術交流基金」 ジョイントセミナー 助成申請書
- 5-9 平成 26 年度 コンクリート委員会 一般会計 予算（案）
- 5-10 コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会（351） 委員構成（案）
- 5-11 「大河津分水可動堰記録保存検討委員会・成果報告会」
- 5-12 社会インフラメンテナンスシンポジウム案

議 事

1. 委員長挨拶

二羽委員長より，100周年記念出版「日本が世界に誇るコンクリート技術」の書評投稿，販売への協力要請があった。また，今年からコンクリート標準示方書改訂作業が本格開始するため，作業支援の要請があった。

2. 次期委員長選挙開票・委員長候補者の決定【資料 5-1】

二羽委員長および土木学会事務局の立会いのもと開票が行われ，二羽委員長より過半数候補者として前川宏一委員をコンクリート常任委員会として推挙することが報告され，前川委員が受諾したことにより次期コンクリート委員会委員長候補者が以下のように決定された。

■次期コンクリート委員会委員長候補者：前川宏一

3. 平成 26 年度第 4 回コンクリート常任委員会議事録の確認【資料 5-2】

久田幹事より，議事録案の報告がなされ，とくに意見なしで承認された。

4. 審議事項

(1) 第 2 種委員会の委員構成【資料 5-3】

二羽委員長より，施工性能指針改訂研究小委員会の委員追加が報告され，承認された。なお，（株）ジタは（株）フジタに修正。

(2) 重点研究課題への応募【資料 5-4，5-5】

岩波幹事長より，重点研究課題に求められる要件，助成件数，助成額を中心に説明がなされた。メール審議での意見はとくになく，幹事会として，コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会の活動を発展させるために応募することを提案し，上記委員会の鎌田委員長が受諾した。

鎌田委員より，コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会の活動内容，及び 2015 年 9 月 11 日に成果報告会を開催する予定であることが報告され，以下の質疑があった。

Q：ヒューマンエラーは対象としているか。

A：航空分野や土木の施工で考慮している。

C：コンクリート分野では人による影響を検討していないので、是非検討してほしい。

Q：人災（例えばテロ）、火災は対象としているか。

A：現状では対象としていない。通常的设计，施工，維持管理で考えている。重点研究課題採択時には考えたい。

Q：放射性廃棄物処分のリスクは対象か。地盤とコンクリートの関係など分野横断的な対象もある。

A：重点研究課題採択時には想定されるリスクの1つとして検討したい。

C：付帯設備や他の構造物の影響などに関する想定外のリスクも検討してほしい。

A：委員会でも結論は出ていないが、今後検討する。

応募する委員会の名称は、分野横断的な名称を幹事団で議論することとなった。また、意見は1月30日までとし、申請書は鎌田委員と幹事団が協力して作成することが承認された。

(3) 全国大会研究討論会の企画【資料5-6】

岩波幹事長より、幹事会の企画提案が以下のようになされた。

2020年以降も見据え、誇りをもった仕事ができるコンクリート業界の輝ける未来を若手に示す内容とし、若手の考え、シニアのアドバイス、女性の活躍、地方創生などをキーワードに具体化する。コンクリート工学1月号のアンケートも参考にする。

これに対し、以下の質疑があった。

Q：取り上げの範囲が広すぎないか。

A：コンクリート委員会主催で責任をもって企画する。

C：この内容を重点課題にふくらまして、若手の担い手に関するテーマとしてはどうか。

意見がある場合は幹事会に送ることとし、次回常任委員会で案を提示する。

(4) 平成27年度ジョイントセミナーの応募【資料5-7, 5-8】

鎌田委員より、フィリピンではこれまで実施していないことから、マニラでの開催が提案され承認された。

5. 報告事項

(1) 平成26年度コンクリート委員会予算執行状況【資料5-9】

岩波幹事長より、平成26年度予算執行状況が報告された。

(2) 第3種委員会の委員構成【資料5-10】

岩波幹事長より、コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会(351)委員構成(案)が報告された。

(3) 100周年記念出版

丸屋幹事より、100周年記念出版の発刊が報告された。

(4) 大河津分水可動堰記録保存検討委員会成果報告会・新潟開催【資料5-11】

丸山委員より、新潟における成果報告会の開催報告及び100周年記念出版としての報告書の紹介がなされた。

(5) 社会インフラメンテナンスシンポジウム【資料5-12】

岩波幹事長より、社会インフラメンテナンスシンポジウムの紹介がなされた。

6. 話題提供

(1) 宮川委員「PCグラウト」

(2) 井上委員「PCプレテンション桁の耐火性」

7. その他

第6回常任委員会：2015年3月13日（金）15：00～17：00，土木学会会議室

（案件の締切は、幹事会前日の3月5日）

委員会終了後、懇親会（会費制）を開催する。